

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)寺山公園屋内教養施設 東区 - 市街化調整区域、法筈 集会所, 2017年10月 予定 45,553.64 m <sup>2</sup> 1,557.77 m <sup>2</sup> 1,357.79 m <sup>2</sup> 地上2F S造 実施設計段階評価 16年9月16日金曜日	
---	--	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{64.5}{37.2} = 1.7$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.1		バリアフリー	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.0
			更新性	Q2.3.3 3.3
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 4.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	LR2.1.1 4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 4.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	Q3.1 3.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	4.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 4.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- ・耐力壁などを設置しない空間のゆとり・設備の更新性に配慮
- ・屋根の固定荷重の軽減による地震力の軽減及び屋外に避難しやすい開口部の多数設置
- ・公園内に雨水調整池の設置
- ・屋根面に太陽光パネルの設置
- ・持続可能な森林からの木材として県産杉の多用化
- ・地域参加による公園緑化計画や施設内の展示スペースの確保

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 寺山公園屋内教養施設	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市東区	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法第22条地域	平均居住人員	200人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	約3,000時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2016年9月16日
敷地面積	45,554 m <sup>2</sup>	作成者	小嶋 順三
建築面積	1,558 m <sup>2</sup>	確認日	2016年9月15日
延床面積	1,358 m <sup>2</sup>	確認者	池田 博文



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み(オンサイト手法) ④上記+オフサイト手法

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 子育て支援としての教養施設を公園内に計画するに当たり、公園との空間的・視覚的そして公園と施設を楽しむという時間を繋げる計画として「環境品質(Q)」・「環境負荷(L)」の各項目の視点を考慮の上計画する。	<b>その他</b> 教養施設としての空間の確保と基礎工事が過大にならない(地耐力に補強する程度)構造躯体として、再生可能な素材の鉄骨造とする。その鉄骨造の外皮性能を向上するための各部位の断熱性能を確保可能な断熱材の選定(一部ノンフロン)	
<b>Q1 室内環境</b> 「外皮性能」の向上に伴う「空調・換気の負荷軽減」の配慮及び中間期における通風を可能にする庇の設置や開口部の形状。	<b>Q2 サービス性能</b> 内装材として、床材は安全面・衛生面・耐久面などの配慮、及び、壁・天井には温かみのある木材(県産杉)の多用。また、設備更新の視点からPS・EPSの設置や天井内空間の確保。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺の景観に配慮すると共に公園利用者が利用できる交流の場を施設内に計画し、半屋外的に利用可能な空間となる庇の設置を計画。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光パネルを公園内に単独設置せず、教養施設の屋根面に設置	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水を図ると共に持続可能な森林からの木材(県産杉)の多用	<b>LR3 敷地外環境</b> 公園・施設利用者の駐車場・駐輪場の設置と共に、隣の東スポーツセンター利用者の臨時駐車場として兼用できる緑地の計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい